総社市立秦小学校 **学校だより**
令和５年度　第６号
４月２８日（金）

☆　大自然に抱かれ　その豊かさを知る。 Nice View でした!　☆

昨日、春の遠足(秦の郷城山散策コース)の下見と山道の草刈りに行きました。地区ボランティア（秦歴史保存会）の皆様と一緒に校長・教頭も参加させていただきました。

山（谷）育ちの私ですが、子どものころは実家の裏山が絶好の遊び場でした。仲間と山の中に入っては、よく本物の蔓（つる）でターザンごっこをしたり、山肌の崖滑りをしたりしていました。当時の私は肌が敏感で、次の日には必ず全身が真っ赤になっていました。漆（うるし）の木を触ってかぶれていたのです。皆さん漆の木はわかりますよね。枝の先端部が真っ赤になって、いかにも「おれに触るとただではおかないぞ」と言っているおぞましい枝ぶりの木です。子どもの私は遊びに夢中になって知らないうちに触っていたんだと思います。同じように遊んでいた仲間は何ともないのになんで自分だけかぶれるのか不思議でした。その時には「もう２度と山の中では遊ばん」と思っているのですが、１週間ほどして、かぶれの赤みがひくとまた同じことをしていました。楽しさには勝てないのです。

現在は、子どもたちが大自然と触れる機会が制限されることが多くなり、いろいろな危険に出会うことも減ってきていると思います。『よい子のみんなは、マネをしないでね。』とか、自分のしてきたことを棚に上げて、大人になった自分が都合よく子どもたちに伝えてしまうこともあります。自然から学ぶことは不思議なことも楽しいことも危険なこともいっぱいあります。春の徒歩遠足は秦の子どもたちが自然のすごさを学ぶとっても貴重な時間になると思います。どれが漆の木なのか、イノシシの足跡とか、ヘびの脱け殻とか、たくさん見つけられそうでワクワクしています。

ボランティアに来てくださった皆様が、約３時間かけて子どもたちの足元に危ないものがないように草刈りをしてくださいました。漆のかぶれの木も刈り取りをしてくださって安心して子どもたちは山へ入れます。5/2の遠足にも同行してくださるそうで大変心強いです。秦の歴史遺産を現地で教えていただける子どもたちは幸せです。当日もどうぞよろしくお願いいたします。